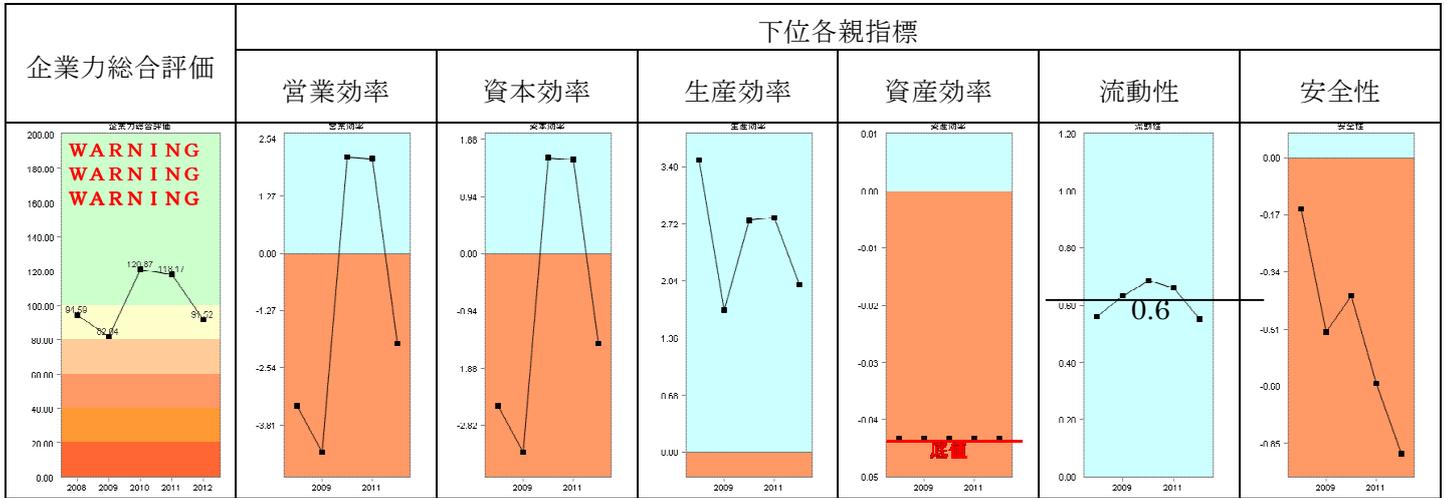
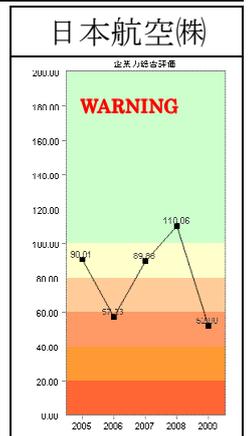


今回は、野村ホールディングス株式会社を分析しました。金融は資本主義を支える道具ですから、とても大切な存在。日本の金融を支える野村ホールディングス株はどのようになっているのでしょうか。（最新 2012 年のみ 2011 年 9 月までの半期決算のデータです。）

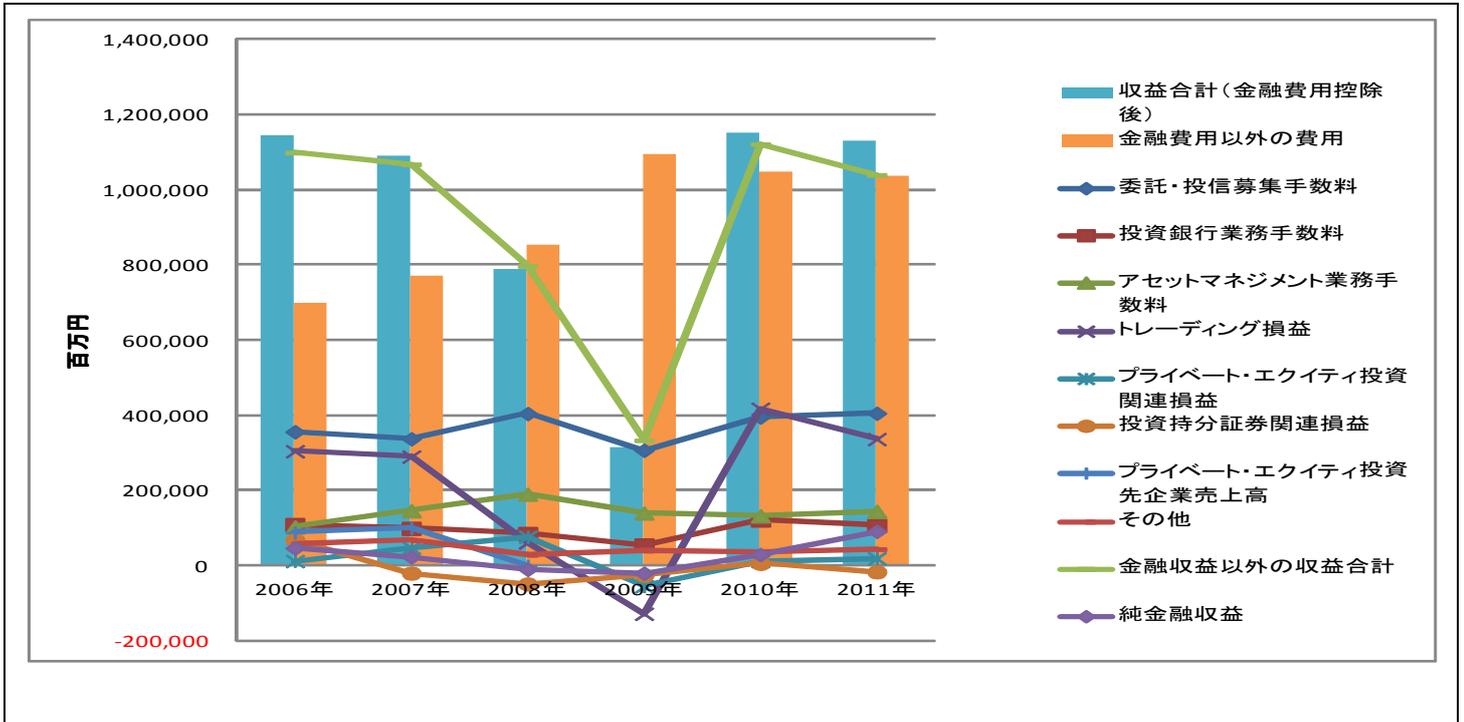


企業力総合評価は、黄信号領域に嵌りながら、乱高下しています。そして、その乱高下の緩衝材がないように思えます。総合評価は、日本航空に似ています。更に、赤い **WARNING** が 3 つついていますので、94.59→82.04→120.87→118.17→91.52 と青信号領域か黄信号領域に見えますが、実際は 60 点以下の厳しい状況を示しています。営業効率（儲かるか）資本効率（資本の利用度）は 2008 年、2009 年、2012 年が赤信号に大きく嵌っています。営業効率、資本効率の形状と企業力総合評価のそれは一致します。これは何を意味するのでしょうか。「乱高下を支える支柱」がないことを示します。生産効率（人の利用度）は青信号ながら悪化トレンドです。資産効率（資産の利用度）は赤信号領域で底値です。流動性（短期資金繰り）は青信号領域です。ただ、天井値は 3.5 ですので、まあまあですね。安全性（長期資金繰り）は赤信号領域を悪化トレンドです。流動性や安全性など財務が、乱高下を支えることが出来ないでいます。



それでは、営業効率の基礎データを見ていきましょう。

| | 単位：百万円 | 2006年 | 2007年 | 2008年 | 2009年 | 2010年 | 2011年 |
|---------------|----------------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 金融収益以外の収益 | 委託・投信募集手数料 | 356,325 | 337,458 | 404,659 | 306,803 | 395,083 | 405,463 |
| | 投資銀行業務手数料 | 108,819 | 99,276 | 85,096 | 54,953 | 121,254 | 107,005 |
| | アセットマネジメント業務手数料 | 102,667 | 145,977 | 189,712 | 140,166 | 132,249 | 143,939 |
| | トレーディング損益 | 304,223 | 290,008 | 61,720 | -128,339 | 417,424 | 336,503 |
| | プライベート・エクイティ投資関連損益 | 12,328 | 47,590 | 76,505 | -54,791 | 11,906 | 19,292 |
| | 投資持分証券関連損益 | 67,702 | -20,103 | -48,695 | -25,500 | 6,042 | -16,677 |
| | プライベート・エクイティ投資先企業売上高 | 88,210 | 100,126 | | | | |
| | その他 | 58,753 | 67,425 | 28,185 | 39,863 | 37,483 | 43,864 |
| | 金融収益以外の収益合計 | 1,099,027 | 1,067,757 | 797,182 | 333,155 | 1,121,441 | 1,039,389 |
| | 純金融収益 | 46,623 | 23,344 | -9,925 | -20,528 | 29,381 | 91,309 |
| 収益合計（金融費用控除後） | 1,145,650 | 1,091,101 | 787,257 | 312,627 | 1,150,822 | 1,130,698 | |
| 金融費用以外の費用 | 700,050 | 769,343 | 851,845 | 1,092,892 | 1,045,575 | 1,037,443 | |



収益合計が青い棒グラフ、費用がオレンジの棒グラフです。収益の変動が大きいですね。これを生みだしているのがトレーディング損益（市場取引を短期的に繰り返して利益を追求するトレーディング取引による損益①金融先物取引所上場の先物・オプション取引②ヘッジ目的で行う債券③内外 CP、CD、貸付債権信託の受益権証券の取得または譲渡④FRA、FXA⑤先物外国為替取引⑥金利スワップ、通貨スワップ取引⑦非上場オプション取引⑧有価証券店頭デリバティブ）です。乱高下が激しく 2009 年にはマイナスになっています。トレーディング損益は、海外の金融破たんなどの影響がダイレクトに出ますが、売上ボリュームが高い為、このような結果になります。

トレーディング損益は、大きな収益になる半面、大きな損失を生みます。

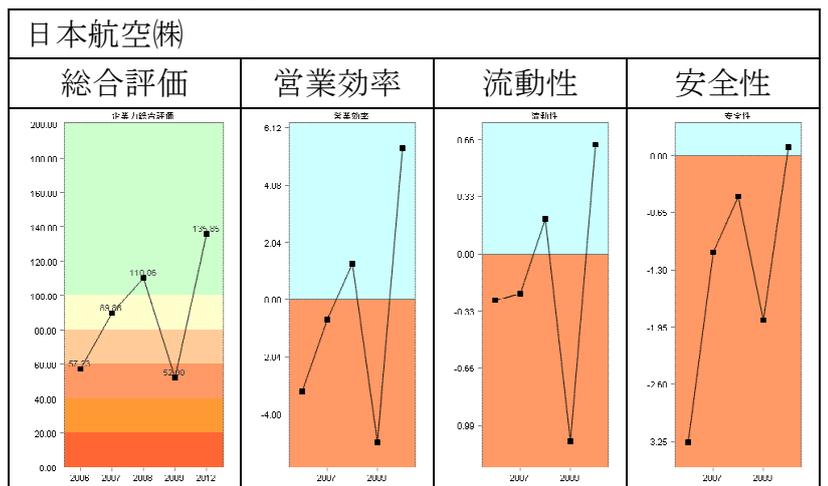
総合評価が良く似た日本航空(株)は、見事V字回復したことを最後に付け加えます。

2012 年は第 3 四半期のデータを入れました。2009 年の 52.00 ポイントから 135.85 ポイントへV字回復しています。(2011～2012 年はデータを見つけれませんでした)

まとめ

今回取り上げた野村ホールディングス(株)は資本主義を金融から支える会社です。それが、トレーディング損益に振り回されて厳しい局面を迎えています。

日本航空(株)のV字回復をみると、野村ホールディングス(株)に同じ軌跡を辿って欲しいと思うのは、私だけではないでしょう。



編集後記 維新が日本のキーワードです。明治維新は男性がし遂ました。BOYS, BE AMBITIOUS

§ ^ . ^ §

文責 JY

〒541-0052 大阪市中央区安土町 1-6-19 プロパレス安土町ビル 7 階 D 号 株式会社 SPLENDID21

tel 06-6264-4626 info@sp-21.com

過去の NEWS、セミナー情報は <http://sp-21.com>